

第 5 章

実現にむけた推進方策

- 1 推進の基本的な考え方
- 2 実現に向けた推進方策

1 推進の基本的な考え方

本マスタープランの実現に向けて、将来都市像を町民、事業者、行政が共有し、様々な活動を互いに連携しながら協働で進めていくことが必要であり、以下にそれぞれの役割について明らかにします。

■町民の役割

町民は、まちづくりの主役は町民であり、自分たちのまちは自分たちでつくるという認識を持ち、自らができることを考えて主体的に行動することが重要です。

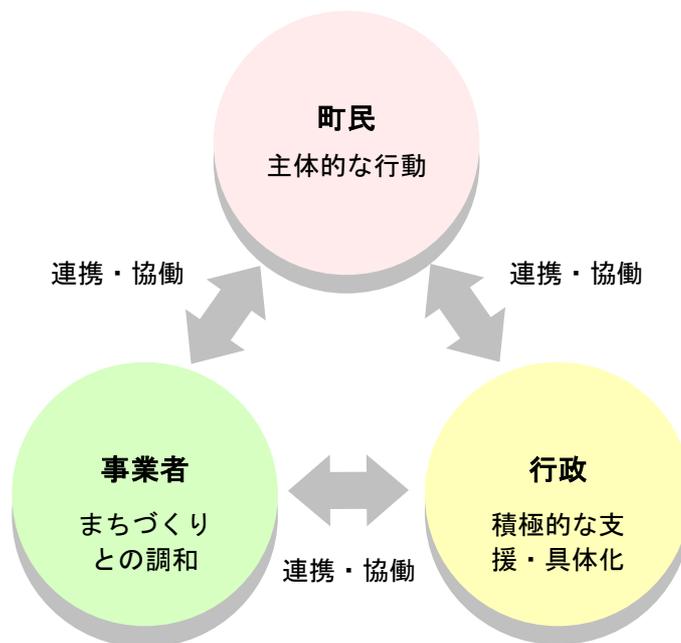
■事業者の役割

事業者は、羽幌町の目指すまちづくりを理解し、その実現に向けて町民や行政と協力し、企業活動や経済活動と調和のとれたまちづくりを行うことが重要です。

■行政の役割

行政は、具体的な事業の推進主体であり、町民・事業者のまちづくり活動を、積極的に支援し、具体化に努めます。

実現に向けた協働のイメージ



2 実現に向けた推進方策

■基本的な方針

都市計画マスタープランの実現には長期の時間を要します。このため、同様に長期の計画である羽幌町総合振興計画と一元的に運用や進行管理を行い、実現に向けて取り組んでいきます。

■推進方策

① 推進のための体制づくり

●行政の推進体制の整備

本マスタープランに関連する各課が連携し、横断的な連絡・調整を図りながら施策を展開していきます。また、国や北海道などの関係機関、周辺市町村との一層の連携に努めます。

●町民参加の推進体制

町民と行政が将来都市像を共有することはもとより、今後の具体的な都市計画の決定や事業においては、町民の理解と合意を得た上での実行が大切です。このため、具体的な都市計画の決定や事業に至る過程において、意見公募等の町民の意見を反映させるために必要な措置を講じます。

●情報公開と啓発活動

町民参加の推進のためには、町民の関心を高めることが大切であるため、本マスタープランにもとづいて進められているまちづくりを、町のホームページや広報などを通じて公表し、常に町民と行政が共通の認識を持てるように努めます。また、町民参加の意識の啓発に努めます。

② 都市計画マスタープランの運用と進行管理

●都市計画の決定変更、見直し

本マスタープランで示された内容について、計画の熟度や事業実施の時期を考慮し、今後関係機関との調整を図りながら、既定の都市計画の変更や見直しを検討します。

●施策化と事業の推進

本マスタープランで示された内容について、順次施策化が進むように努めます。また、国や北海道などの関係機関への積極的な働きかけを行い、都市計画事業の一層の推進を図るとともに、多様な補助制度を活用し、本マスタープランの実現に努めます。

●各種計画との相互の連携

まちづくりにおける様々な分野において、今後策定する他の各種計画との相互の連携に努めます。また、「羽幌町総合振興計画（ほっとプラン21）」や「羽幌都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」が見直された際には、必要に応じて本マスタープランの見直しを行います。

●都市計画マスタープランの進行管理

都市計画マスタープランは、現時点での将来ビジョンを示しており、今後の時代の変化に柔軟に対応するため、必要に応じて見直しを行います。また、本マスタープランの着実な実現を図るため、その達成状況について進行管理を行います。